

【救い(2 回目): Salvation(second)】

旧約でのイスラエルの歴史は、前回の「ノアの箱舟」のように、罪と暴虐に対する、神の審判が多く出てきます。全地は滅ぼされたが、正しい人ノアと彼の家族は滅びから免れました。それが救いです。そのような話が多く出てくるのが旧約聖書です。

では、新約聖書ではどう書かれているのでしょうか。預言書であるイザヤ書には、新約時代に起こる事柄を預言しています。まず、イエスの誕生です。イザヤ書 7 章 14 節「それゆえ、主は自ら、あなたがたに一つのしるしを与えられる。見よ、処女が身ごもっている。そして男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶ。」【Therefore the Lord Himself will give you a sign: Behold, the virgin shall conceive and bear a Son, and shall call His name Immanuel.】その預言の成就がマタイ 1 章 23 節「見よ、処女が身ごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」それは、訳すと「神が私たちとともにおられる」という意味である。」【“Behold, the virgin shall be with child, and bear a Son, and they shall call His name Immanuel,” which is translated, “God with us.”】イエスと言う名前の意味は「神は救う」です。イエスと言う名前は当時一般的に平凡な名前ですが、キリストはヘブル語で、「メシヤ」と言います。旧約の人々や、今のユダヤ人も含めて、待ち望んでいるのが、「メシヤの誕生」です。使徒 13 章 23 節「神は約束にしたがって、このダビデの子孫から、イスラエルに救い主イエスを送ってくださいました。」【From this man’s seed, according to the promise, God raised up for Israel a Savior, Jesus】

イエス・キリストによる救いは、罪からの救いです。マタイ 1 章 21 節「マリアは男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。この方がご自分の民をその罪からお救いになるのです。」【And she will bring forth a Son, and you shall call His name Jesus, for He will save His people from their sins.】なぜ人は罪から救われなければならないのか？ローマ 6 章 23 節「罪の報酬は死です。しかし神の賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。」【For the wages of sin is death, but the gift of God is eternal life in Christ Jesus our Lord.】

人は神の前では罪ある者です。モーセの律法を守れないすべての者は罪人です。出エジプト記 20 章 3 節「あなたには、わたし以外に、ほかの神があってはならない。」【You shall have no other gods before Me.】この神は、天地創造の神です。

人はみな、自分勝手に神を作り出しているのではないのでしょうか。「わたしは、無神論者だ。」と言う人は、聖書も神の力も知らない者です。ローマ 1 章 20 節「神の、目に見えない性質、すなわち神の永遠の力と神性は、世界が創造されたときから被造物を通して知られ、はっきりと認められるので、彼らに弁解の余地はありません。」【For since the creation of the world His invisible attributes are clearly seen, being understood by the things that are made, even His eternal power and [g]odhead, so that they are without excuse】神を知らない者は大きな過ちを犯しています。罪を犯した者を神は裁かれます。その裁きから免れることを救いと言います。その救いを、イエス・キリストは実現されました。